



鵜鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター令和2年新年号(74号)

どうなりたいのか

施設長 遠山香



新しい年が明け、早いものでもうすぐ1か月が経とうとしています。皆様今年の目標は立てられましたか？

私の目標は「トライすること」です。何にトライするかノートに書き出してみました。

体を鍛える、買ったのに読んでいない本を読む、ピアノを弾く、富士山に登る、海外へひとり旅をし自助グループに参加し海外の薬物依存症者と出会う、ヨーガの実践、食生活の改善、祈ること、etc まだ他にもたくさんあります。

過去の私は他人を羨んで嫉妬ばかりしていたものです。自分が本当はしたいと思っていることを制限している時、『いいなあ、うらやましい』と言う感情や『別にどうでもいいし』と、本心ではない感情が出たものでした。

『薬をやめたいけど、やりたくないことはしたくない。あの人にはできても私にはできない。』と嫉妬して、他人を非難する私に向かって先行く仲間は「人の事はいいからあなたはどうかしたいの？」とよく言われました。私はどうなりたいのか？始めのうちは全然わかりませんでした。がじっくり考えました。自分がどうなりたいのか？その動機についてもよく考えるように言われました。

振り返ってみると過去は人によく思われたいからという動機で行動していました。そんな他人中心の動機だと幸せが感じられませんでした。今は、動機を考えて行動するようにしています。

ダルクの仲間達も、人にどう思われるのかを気にしすぎて、自分はどうなりたいのか見い出せずにいる事が多くあります。しかし、ダルクや自助グループのミーティングでどうなりたいのか話し続けること、相談すること、そして祈って行動することで、ハイヤーパワーの助けがあることに気付かされます。

最近思ったことを行動に移せなくなってきたので、今年は積極的にトライしたいです。今年も良い1年になりますように。皆様と共に。

(編集部注 ハイヤーパワー＝「人知を超えた力」のことです。特定の宗教とは無関係です)

仲間の体験談

ミラクル



以前はガチャピンと言う名前で投稿したミラクルです。

今までのやり方では駄目だと言われ、「嫌な方を選ぶと良い事が与えられる」というのを実践した、刑務所での美容科職業訓練生としての日々は筆舌では尽せぬ日々でした。

技官さんからは「ほら、また手が止まっている。頭で理解しようとしても駄目、体で覚えないと駄目」とか、「変な固定観念は捨てて」とか言われましたが、今思うとダルクで言われている事と、何か通じるものを感じます。

学科の方は必死に勉強して受験者の中では1番でした。実技の方は、試験直前まで、タイムに入らなかつたり合格ラインまでの作品は作れませんでした。そんな中、施設長の面会で、涙する事もありました。「合格も大切だけど、結果より今取り組んでいるプロセスが大切だよ」と言われ、「必要ならば与えられる」を信じ試験にのぞみ、今までの中で1番綺麗な出来で、タイムにも入り、合格する事が出来ました。

奇跡です。そして9回目の懲役なのに仮釈放にてダルクへ戻り、今度こそ生き方を変えようとプログラムに取り組んでいます。以前の様に、酒や他のものへ依存対象がスライドしない様に、今炭酸飲料も断ってリハビリ中ですが、徹底的にプログラムに取り組まなければいけない事を分かっている、考え方や行動パターンを変えるのには、長年培って来たものが顔を出し、根が深いので大変です。

自由の効かない懲役が済んで何故ダルクに来たかと言うと、生き方を変えないといけないと思ったからです。人生の殆どを塙の中で過ごしてきたけど、今までの辛い日々を役立たせる事が出来るよう、美容の職訓の時も、目の前の事で一杯で辛かったけど、やり続けて良かったと思います。そうなる様一日一日「今日だけ」でベストを尽くしたいと思います。

一人暮らし

ジュン



朝5時。布団の中でスマホのアラームが鳴るのを待つ。鳴った瞬間、音を消す。「うるさいんだよ！」って見知らぬ住人に言われぬように。フローリングの床がミシッと軋む音、トイレを流す音、ドアの開け閉めの音、階段に響く足音。全ての自分から生まれる音、気配を消したい。薬を使っていた時もこんな感覚だった。一人暮らしを始めて、俺の臆病さは変わっていないと再確認した。

ダルクの入寮生活で覚えた炊事、洗濯、掃除。どれもへっちゃらと思っていた。でも、どうやら違った。仲間が「洗濯機あいたよ。」「ジュンちゃん、お風呂お先でした。」「今日どこ掃除する？」って声を掛けてくれた。だから自然に出来ていたんだ。家にいる時もそうだったな。「パパ風呂入って。」とママに言われて入ったっけ。

一人で生活するって、自分で一つ一つ何をするのも考えて行動することだと分かった。何もしないことを選ぶこともできる。だけど、それじゃあ何だかダメだ。つまらないぞ。寂しくならないか？怠惰、格好悪くないか？そんな声が心の中から聞こえてくる。

一日の中で一人の時間はとても短い。限られた時間は、自分を大切にすることに使いたい。湯船にゆくりと浸かる。音楽を聴く。本を読む。スマホでテレビを見たり、エロ動画も見ると。温泉で買った白檀のお香を焚く。そんな時間を楽しんで、しっかり寝ることが、自分には何より大切だ。免疫の病気を抱えているし、パン屋の仕事は体力を消耗するから。朝スッキリと目覚めて、元気に働いて、くたくたになってダルクの仲間に「ただいま」と笑顔で言える「格好いい自分」になりたい。

ボランティアだより

家族会スタッフ とも



あけましておめでとうございます。岐阜ダルク家族会スタッフのともです。

私は今から1年8ヶ月程前に薬物依存症で旦那を亡くしました。彼と過ごした日々は私にとって経験した事のないような辛くて悲しい日々でした。2年前の冬、彼の葉が止まらなくなり幻覚や妄想がひどく現実と妄想の区別ができない事が多くなりました。私自身も何を責められているのかわからず謝る事が増え精神的にも辛くなり、過呼吸を繰り返すようになりました。それでもずっと一緒にいた私は共依存症だったと今では思っています。

彼が亡くなる前の日、電話で3時間くらい話しました。何時間も電話する事が毎日のようにあって、その日はすごく冷たくしたのを今でも覚えています。亡くなった日、周りの人達は彼が選んだ事だから私のせいじゃないと声をかけてくれましたが、私には後悔や悲しみや苦しみが彼がいなくなった後もずっと続きました。

彼が亡くなって1か月後に見つけた新聞の記事に岐阜ダルクの演劇の記事が載っていて、彼からダルクの話聞いた事があったので気になり行ってみようと思ったのが、初めてダルクの仲間と出会った日でした。演劇の初めから涙が止まらなくて号泣したのを今でも覚えています。数日後、彼がよく図書館に行っていた事を思い出し、私も休みの日は近くの図書館に行くようになりました。私は彼が亡くなった後もその足跡を辿るようにしか生きれずにいました。そんな中、図書館の中でボランティアの文字が目にとまり、演劇を見た後からずっと何か自分に出来る事がないかと考えていたので訪ねてみました。岐阜ダルクを長年支援している方が偶然窓口で、すぐに電話していただき、岐阜ダルクに繋がりました。この出会いも今はすごく運命的なものを感じています。

初めてボランティアとして岐阜ダルクに行った時は少し不安もありましたが、仲間が笑顔で迎えてくれてすごく温かい気持ちになりました。そして今、家族会のスタッフとして1年半程経ちました。家族会ではソーシャルワーカーの先生が依存症について話をしてくれます。先生がいつも『ここにいる皆さんはラッキーです』って言われるんです！本当にそう思います！！今もどこにも繋がれず誰にも話せず、1人で苦しい思いをしている家族の方や依存症の方がたくさんいると思います。私もその1人でしたから…。そして家族会で依存症の事を知って行く度に、自分が間違っただけだった事に気づかされました。自分の力だけで彼の事を変えられると勘違いしていました。

この1年半の間で私は続けていく事の大切さや本当の愛の形をたくさん学びました。当時もし家族会に参加していたら未来が変わっていたのかなと思う事もありますが…でもこうゆう形で家族会に繋がったのは、私にはきっとまた違う役目が何かあるんじゃないかと思えるようになりました。もし今同じ所でずっと1人で苦しんでいる方がいるなら、その場所から勇気を出して一歩踏み出してほしいって思います。その勇気がきっと何か変わる未来を描いてくれると私は信じています。繋がりが続ける事はとても大変で難しい事かもしれませんが、1日でも早く家族会や仲間達と繋がる事を祈っています。

私自身まだ悲しみは消えませんが…今はダルクの仲間の回復していく姿や笑顔に元気やパワーをたくさんもらっています。いつもありがとうございます。これからも一緒に回復していきましょう！！この機会を与えて頂いた事とたくさんの出会いに感謝しています。

11月24日 チャペルコンサート in カトリック岐阜教会

※チケットの売り上げと会場募金合わせて 210,466 円 集まりました。皆様からのご厚意は今後とも岐阜ダルクの活動資金として大切に活用させていただきます。



・教会でたくさんの方の前で仲間たちと歌っていると、自然と笑顔になりました。(ジュン)
 ・生演奏を間近で聴かせていただき驚沢な非日常感を味わう事ができました。(てっちゃん)
 ・僕たちの歌を聴き、感動して涙を流している方を見かけて嬉しかったです。(ヨッチャン)

12月20日~21日 香川ダルクフォーラム

※参加の目的は仲間同士の助け合いです。メッセージを通して、新しい仲間との出会いとつながりを増やしていきます。



・岐阜ダルクのメンバーとして、初めてスピーカーをしました。薬が止まったのに、生きていく事が本当にどうにもならなくなった私にとって、支援者の方のお話や私たちへの関わり方の深さに心を打たれました。そして、様々な依存症の仲間たちと今、一緒に過ごすことが人間関係が下手くそな私には必要なんだ！と感じた一日でもありました。(さわこ)

12月27日 陶芸プログラム

※想像力を働かせながら無心になって土に触れ、イメージを形にしていきます。集中力が育まれ、創造性が豊かになります。自分の作品を生活の中で使うことは、大きな喜びです。



・初めての体験で何も分からないけど、この世に一個しかないMyマグカップ(フタ付)作成中！(ミラクル)



令和2年 1月2日 書き初め

※毎年恒例、令和初の仲間達の抱負です。



・今年は努力をしてタバコの本数を減らしてタバコをやめようと思います。(ひげ)
 ・嫌なことを先延ばしにする事が多いので逃げずに向き合えるようになりたいです。(ウメちゃん)
 ・今年57歳になるんですけど、成長できたら格好いいかなと思う。(ジュン)
 ・年明けに引いたおみくじの一字が「波」色々な波も乗り越えられる様にしたいです。(ぼたん)
 ・就労プログラムで行っているアルバイト先で星「資格」を獲得する！(ヨッチャン)
 ・今迄、書いた事のない字ですが今年こそ本気でプログラムに取り組みなければいけないと思い書きました。(ミラクル)
 ・自分にも他人にも誠実でいられようように。(てっちゃん)
 ・私は最近プログラムやりたくない病が出て来ているので、仲間とやる大切さ、感謝を忘れない為この抱負にしました。(まな)
 ・今日1日中ベストを尽くす。ねる時、1日ベストを尽くせたいと思うように。(まさひろ)
 ・今年は全ての事をあきらめずに挑戦していきます！貯金して海外 Lets BALL! 自助グループでのサービス！そして自律を！(あやか)
 ・一人暮らしに慣れてやっぱり増えた寝坊…、遅刻…。今年目標は幼少期からの課題「早寝早起き」(でいちゃん)
 ・昨年、ダルクで生活する中で折ることと行動する事が大事だと思ったので今年の書き初めにしました。(あらちゃん)
 ・長い人生、ゆっくりと取り組みたい。忘れ物をしないように(さわこ)
 ・人と関わりをもちながら、色々な事を学ぶ1年にしたいと思います。(ちさこ)

12月25日~26日 岐阜ダルク忘年会 一発芸大会

※2年前から始まった一発芸大会！今年は名古屋、香川、岡崎のダルクの仲間たちを巻き込んで一緒に楽しみました。自分の殻を破る目的でもあるこのプログラム！この日の為に真面目に練習を積み重ねてきた仲間たちの芸はクオリティーが高く、もはや一発芸の域を超えていました。



・仲間在白ぬりメイクをするのが楽しかったです。ゆるーい雰囲気の中ひげダンスでした。他の一発芸もたくさん笑えました。(あらちゃん)
 ・仲間と一緒に流行りのラグビーのハカを一発芸で披露してもらいました。女性としては恥ずかしい大股開きでしたが、仲間と一緒に何事も恥ずかしくなかった！他の地域の仲間達の一発芸も本当に楽しかった。(まな)

12月31日~1月1日 自助グループ年越しイベント

※今年も大勢の自助グループの仲間達とカウントダウンを共にして素面でハッピーニューイヤーを迎えました。仲間と過ごす年末年始は良い思い出となります。



・今年は4回目の年越しイベントに参加してきました。山頂で見る初日の出は、やっぱり何度見ても感動します。仲間と一緒に見るからかな？(あやか)



・2回目の年越しイベントin三重、風が強くて寒かった。早く食べないと固まるというぜんざいとよかんのか「ぜんざい」体も温まっておいしかった！(ぼたん)

1月18日 ハートフルフェスタ2020に参加

※発表会で2曲の歌を合唱しました。リズムやハーモニーを合わせるため、ピアノを伴奏する仲間の指導の下、全員でレッスンを続けました。仲間達との一体感や連帯感、協調性を学びます。



・ピアノの伴奏を担当しました。自分が失敗すれば台無しになるというプレッシャーを感じながら無事に成功をおさめ、ホッとしました。(ウメちゃん)
 ・客席にボランティアで関わってくれている料理の先生やヨガの先生、演劇の先生、それに教会の方々が勢揃いしてくれて本当に本当にうれしかったです。過去、あのまま薬を使い続けていたら絶対に出会えなかった人達です。これからもずっと関わり続けていきたい、そう思いました。(あやか)

令和元年12月 活動報告

- 13 コミュニティカフェ れんげ参加、保護観察所における薬物乱用防止プログラム・ステップアッププログラム (以下 ステップアッププログラム)
- 14 薬物電話相談日
- 15 大垣マラソン2019出場、自助グループオープンスピーカーズミーティング ステップアッププログラム
- 17 岐阜ダルク後援会
- 19 ヨーガプログラム
- 20 ステップアッププログラム
- 20~21 香川ダルクフォーラム参加
- 21 薬物電話相談日
- 22 日本福音ルーテル岐阜教会にてクリスマス会 カトリック東山教会にて活動紹介 岐阜ダルク家族会
- 23 ステップアッププログラム
- 25~26 岐阜ダルク忘年会
- 27 陶芸プログラム
- 28 フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 29 岐阜ダルク大掃除
- 31~1/1 自助グループ年越しイベントに参加 ※毎週水曜日パソコン教室

令和2年 1月 活動報告

- 1 自助グループ年越しイベント参加
- 2 書き初め 4 電話相談日
- 8 各務原病院メッセージ、薬物電話相談日
- 10 コミュニティカフェ れんげ参加
- 11 薬物電話相談日
- 12 日本聖公会一宮聖光教会 同盟福音堂松クリスト教会にて活動紹介 岐阜ダルク家族会
- 14 ステップアッププログラム
- 15 岐阜ダルク後援会
- 16 情状証人出廷
- 17 ステップアッププログラム
- 18 ハートフルフェスタ参加、薬物電話相談日、フラワーセラピー
- 19 日本福音ルーテル岐阜教会にて餅つき 大垣サンライズチャペルにて活動紹介 ステップアッププログラム
- 21 各務原病院職員プログラム体験受け入れ
- 22 ヨーガプログラム
- 24 ステップアッププログラム
- 25 薬物電話相談日、ニュースレター発送作業 ※毎週水曜日パソコン教室

新年、明けましておめでとうございます
 今年も岐阜ダルクをよろしくお祈りします



第1回 依存症のはじまり・施設のはじまり

各務原病院 ソーシャルワーカー

澤木幾佐



依存症のはじまり

人類最古の抗精神病薬はアルコールと言われている。かのエジプトのピラミッドも労役の奴隷にビールをふるまわなければ出来なかったという学者もいる程である。ビールを発明したのはエジプト人である。

酒は製法により、蒸留酒と醸造酒、混成酒の三種類に分類される。醸造酒からアルコール濃度の高く、長期保存が可能な蒸留酒が造られた。醸造酒はワイン、シードル、日本酒、ビール等がある。蒸留酒にジン、ウォッカ、テキーラ、ラム、ウイスキーやブランデー、焼酎などがあり、混成酒は梅酒やリキュールとされている。

ひとの作った酒の歴史は古い。人類が作った最古の酒と呼ばれている蜜蜂宿(ミード)がある。人間が農耕を始める以前、狩人熊に荒らされて破損した蜂の巣にたまった水を飲んだことが始まりとも言われている。今から1万5千年も昔のことである。水と蜜蜂を放置しておく自然にアルコールの成分になることを利用して作った原始的な発酵飲料でもある。世界各地にミードが作られて政治的な儀式や宗教的儀式等にも使われてきた。そのうちにワインやビール等が流通し始め、ミードの飲用は減少していった。

アルコール依存症の歴史も古い。古代エジプトやメソポタミアの時代の粘土板で飲酒による酩酊の記述が見つかっている。

古代メソポタミアではビールを飲むのが人間の証とも考えられていた。の古代ペルシアでは酒を飲みながらひとに大事なことを相談し、その後、酒が抜けてからも同じ相談をするという二度採決の相談の習慣があった。それは、本音と建前を一致させるための古人のひとつの知恵でもある。飲酒は必要な生活習慣のひとつだったのだ。

依存症施設のはじまり

1775年、アメリカでは醸造酒から蒸留酒に消費がシフトした。国民の飲酒が安価で持ち運びがしやすいウイスキーに集中し、急激に飲酒者が増加し始めた。アルコール依存症は蒸留酒の流通から急激に増加したことが考えられる。当時は蒸留酒を飲まない運動まであった程であるそれまで、ひとが時として酔っ払うことは一般的に認められたが、そう問題になることはなかった。

アメリカ合衆国建国の父でもあるベンジャミン・ラッシュが、当時ペンシルベニア病院の職員であった1784年に発表した論文のなかでアルコール依存症を「忌まわしい病」と呼んでいる。

その当時、既に彼は依存症の世代間連鎖の問題にも自著のなかで触れている。軍医だった彼は従軍した兵士の過度の飲酒や相関関係となる喫煙を戒めるため、数万部にも及ぶ小冊子を配布していた。

初期のアメリカ史において、ベンジャミン・ラッシュほどアルコール依存症の治験に関して力を及ぼした者はない。彼は信仰深く善良で神医学の父とも呼ばれるが、アルコール治療の最初の権威者であったことは言うまでもない。ラッシュの父はアルコール依存症であり、問題飲酒のために離婚しており、母親は再婚相手にも虐待されていて、その再婚相手は蒸留酒を造っていた。そんな経験もあり、ラッシュは嫌悪療法等、様々な治療を熱心に患者に試みるが、ことごとく上手くいかなかった。

そこで、ラッシュは特殊施設の開設に尽力することになる。ラッシュは、酔っ払って仕事を省みなくなり家を粗末に扱うような、アルコール依存症者を特殊施設に入所させた。これが依存症リハビリセンター、中間施設のはじまりである。

※今回から澤木さんに依存症についてのこの講座を連載させていただきます。

次号に続く

Step house だより

スタッフ 山田 興久



新年おめでとうございます。皆様は、どのように新年を迎えられましたか？ Step houseの仲間たちは、今年も恒例の三重で自助グループの大勢の仲間たちと共に新年を迎え、美しい初日の出を見ることができました。

「美しい初日の出」と言いましたが、それを見ても何も感じなかったと、悲しそうに言っている仲間がいました。多くの仲間たちが、プログラムを続けてしばらくしてから初めて、自然の素晴らしさを感じられたと言います。ハイヤーパワーから与えられているものの素晴らしさを、仲間たちがたくさん感じられるようになったら良いと、本当に思います。そのために関わり続けたいと思っています。

しかし、僕にはたくさんの欠点があります。昨年周りの人たちに迷惑をかけた、傷つけたりすることが度々ありました。自己中心的に物事を決めつけたり、自分以外のことに関心の薄い面があるように思います。仲間を傷つけます。きっと人間的に未熟なのはもちろん、仲間に対する愛情が、まだまだ足りないのだと思います。こうした欠点を手放し、自分を変えていくのが僕たちのプログラムです。仲間たちも、それぞれに取り組んでいます。僕も、自分を変えていきたいと願っています。

そこで、今年の抱負は「育む」にしました。まずは、自分自身の人間性を豊かに育みたいと思います。いろんなことを思い、気づき、よい行動ができるように。そして、先行く仲間から以前「仲間に対する愛情はだんだん大きくなっていくから」と教えてもらいましたが、何よりもそれを大きく育みたい。今年は56歳になりますが、プログラムを実践することで、まだまだ成長できると信じています。

自分をより良く変えていこうとしている Step houseの仲間たちを、今年もよろしくお祈りします。



(まんが執筆：てつちゃん)

ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

献金者名（令和元年11月21日～令和元年12月31日）敬称略

田口大輔 伊藤直美 魯慈忍 日本キリスト改革派岐阜加納教会 沼沢武雄 橋爪タツ子 福野照代 合田政次 日本キリスト教会大垣教会 上田千津子 小島浩一 木下容子 平川玲子 岐阜山県保護区保護司会・会長・岩田輝雄 柴崎章子 嵐田宏之 服部正博 (株)福原サービス カトリック瑞浪教会 武芸川町仏教会 服部忠夫 カトリック布池教会・ともしびグループ・西村由美子 中西東峰 北谷雅春 外村正之 渡辺眞帆 幼き聖マリア修道会 岡村晴美 村松みよ子 赤木貴美江 鎌田憲子 山科正太郎 清水章子 檜田邦自動車株式会社 藤本弘 不破達生 大木廣志 河合潔 杉山仁美 清水宗夫 山内はる美 河口隆志 奥石由起子 成井尋江 樹の会・加藤洋子 山本亮 日本キリスト教会岐阜教会 河合正嘉 川口清子 岡部美代子 幼き聖マリア修道会富山修道院 山下民男 久保田芳則 亀田公子 高橋直子 小松康宏 聖マリアの無原罪教育宣教師会 千田知栄 不破ノ関病院・院長・岩戸敏廣 日本キリスト教団名古屋北教会牧師・山田詩郎・山田麻衣子 福島春美 横井勝秀 南保輔 有安祥子 丹羽敬子 日本聖公会・一宮聖光教会 (一社) 法人ドムクス・岩松美八子 丸山ウメ代 NPO 法人キッズスクエア瑞穂・矢野幸子 田中勇 豊田聖ペテロ聖パウロ教会 日本福音ルーテル大垣教会・柴田るみ子 吉田和郎 日本基督教団・熱田教会・小林光 伊藤皓吉 松井勲 ムラマツヒロユキ (有) ユーアイシー・鶴飼武彦 出井武史 三輪真由美 聖ドミニコ宣教師道女会・岡崎修道院 西村牧子 佐々木竜次・さち子 大黒久子 橋詰清子 福安一幸 澤田透 養清興業株式会社 光栄英生 永嶋恵美 森雅明 長田尚人 島源三 匿名者多数

活動紹介による献金（令和元年11月21日～令和元年12月31日）敬称略

カトリック岡崎教会の皆様 日本キリスト改革派恵那教会の皆様 カトリック東山教会の皆様

献品者名（令和元年11月21日～令和元年12月31日）敬称略

古藤みつこ 木下容子 福安一幸 三輪真由美 日本キリスト改革派那加教会 澤田透 島源三 深津伸夫 檜田邦自動車株式会社 山田眞人 所紀代香 ケンイチ 渡邊麻理 酒向秀子 匿名者多数

※お名前の記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前の誤字・脱字または記載漏れなどございましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。

お知らせ
緊急!

女性の仲間の回復場所を増やすため、各務原ダルク(女性専用)を開設したいと考えております。3LDK以上で、格安で、物件を貸して下さる方、もしくは購入物件の情報を提供してください! よろしくお願いします。 058-201-3555(宮嶋まで)

クレジットカードでご寄付いただけるようになりました

このたび、岐阜ダルクの活動資金のご寄付が、クレジットカードでもできるようになりました。右のQRコードをスマートフォンで読み込んでいただくか、「岐阜ダルク 寄付」で検索していただくクレジットカード寄付ページにたどりつきます。

岐阜ダルク 寄付



もちろん郵便振替用紙でのご寄付も従来通り受け付けさせていただきます

岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

岐阜ダルクでは施設の地代家賃、水道光熱費、専任スタッフの人員費等、毎月一定の固定費がかかる一方、「中間施設」の性格上、きわめて財務基盤が不安定で、皆様方のご寄付が欠かせません。引き続きご理解とお力添えをお願い申し上げます。

編集・特定非営利活動法人 岐阜ダルク

編集担当 岐阜ダルク後援会 徳弘浩隆 鈴木輝一郎

〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-201-3555

Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://www.gifu-darc.org/>

ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.sblo.jp/>

2020年 岐阜ダルクニュースレター令和2年新年号 (No.74)

定価 1部 200円編集責任者 遠山 香

発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会

名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

